

協働のまちづくりオンライン市民集会

アンケート 結果

【問 5】「浜田市協働のまちづくり推進条例」に基づく新たなまちづくりに期待すること・不安なことをそれぞれご記入ください。

(1) 期待すること

(2) 不安なこと

【問 6】本日の説明等に対して、ご質問やご意見があればご記入ください。
(ご記入いただいたご質問等については、後日、質疑応答集にまとめ、ホームページやまちづくりセンターに掲示させていただきます。)

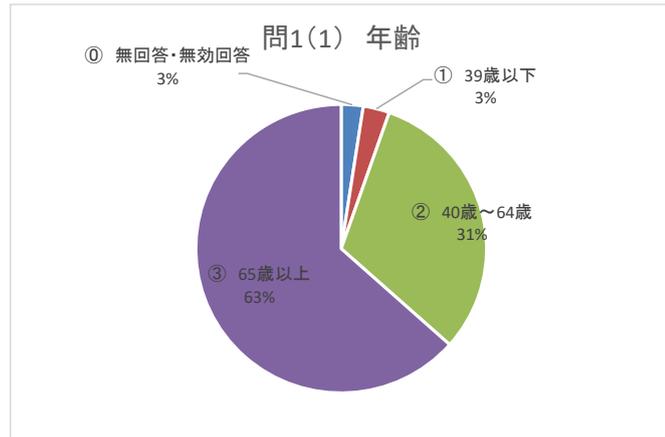
【問 7】その他ご意見があれば自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

メール (machizukuri@city.hamada.lg.jp) や F A X (0855-23-1866) 等で、浜田市まちづくり推進課へご提出ください。

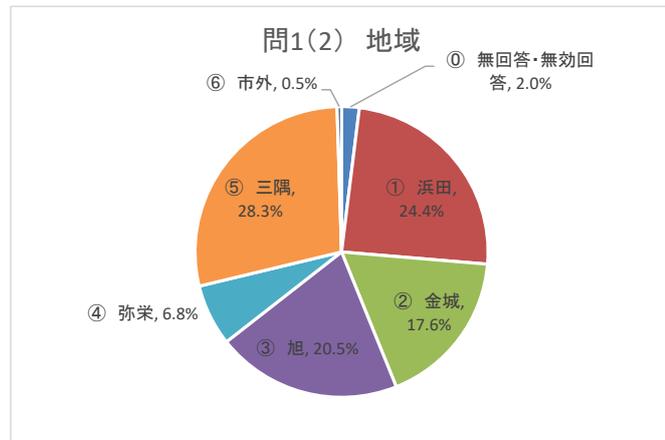
問1
(1) 年齢

	回答数	率
① 無回答・無効回答	5	2.4%
② 39歳以下	6	2.9%
③ 40歳～64歳	64	31.2%
④ 65歳以上	130	63.4%
合計	205	100.0%



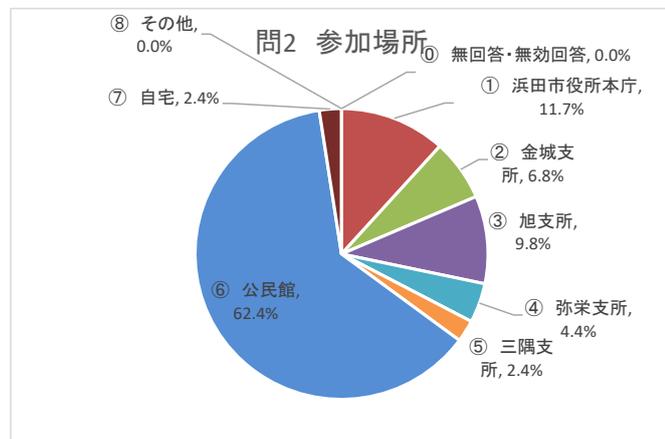
問1
(2) 地域

	回答数	率
① 無回答・無効回答	4	2.0%
② 浜田	50	24.4%
③ 金城	36	17.6%
④ 旭	42	20.5%
⑤ 弥栄	14	6.8%
⑥ 三隅	58	28.3%
⑦ 市外	1	0.5%
合計	205	100.0%



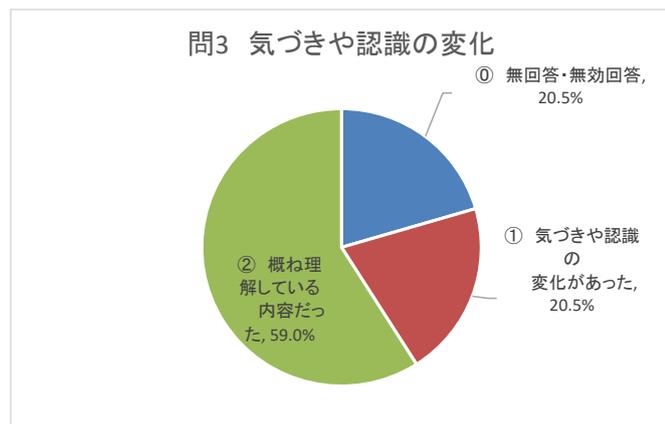
問2
参加場所

	回答数	率
① 無回答・無効回答	0	0.0%
② 浜田市役所本庁	24	11.7%
③ 金城支所	14	6.8%
④ 旭支所	20	9.8%
⑤ 弥栄支所	9	4.4%
⑥ 三隅支所	5	2.4%
⑦ 公民館	128	62.4%
⑧ 自宅	5	2.4%
⑨ その他	0	0.0%
合計	205	100.0%



問3
気づきや認識の変化

	回答数	率
① 無回答・無効回答	42	20.5%
② 気づきや認識の変化があった	42	20.5%
③ 概ね理解している内容だった	121	59.0%
合計	205	100.0%



会場	問4 具体的な気づきや認識の変化(問3①の人が回答対象)
本庁	今迄の自治区制度は早くやめるべきと思っていましたので良かった。区長が5人、各支所長等、長の人が多く、人件費が多く必要になり、不経済であった。
本庁	市民の役割や市の役割が条例に明記されていることが分かった。
本庁	これまでとほぼ同じ、看板のかけ替えにとどまる。何をするのか、どうやってやるのか、明らかにならず、地域任せ、コーディネーターに頼るのみ。コーディネーターは年金が出るまでの職員の処遇の色が出ていた。
本庁	条例のポイントについて知ることができた。浜田市の社会教育の充実ぶりについて知ることができた。
本庁	「公民館」が「まちづくりセンター」に変わるということは、どういう事なのか知りたくてきました。
本庁	私は自治公民館ですが、まちづくりセンターが出来た事で説明の中で備品等も市長部局で考えて行くとの説明がありましたが、私共自治公民館では災害等の時など通信設備が不足しています。テレビ等の配置を出来ればしてほしい。
金城	住民理解を得るには説明が理解しにくかった。不明点が深くなった。
金城	高齢化、中山間地域の過疎化が進み、人口が減少に波止めがかからないのですが、若手にとって魅力的な町になる様、皆にスポットライトが当たる。活気あふれる町をつくりましょう。
金城	主事2人について、決まりにくい。地元の人をお願いする予定である。
金城	協働のまちづくり推進条例が施行されるにあたり、メリットについて市長の説明では具体的にはなく自治区制度が廃止となるから条例を施行するとのことであるが、特にメリットがないのであれば条例の設定は必要なかったのでは。
旭	地域や地域住民を大切にしたり、結びつけたり、幸福を感じることが出来るような拠点づくり、取組を積極的にすすめていくことが分かった。地域の方々に足を運んでもらえるようなセンターになるといいなと感じた。
旭	長畑先生が説明された具体的な取り組み方向の視点4つのKの内容がわかりやすかった。公民館→まちづくりセンターに変わることに、不安がありますが、今まで公民館ですすめてきたことを引き続き、プラス地域住民を交えてまちづくりについて考えていけるように、地域住民の理解と学びの場があればと思いました。
旭	少子高齢化、行革により、今まで行政が主に課題解決を行っていたが、人もお金も減る中で、住民みずから地域の課題について、前向きに参画する必要があると感じた。
旭	まちづくりセンターになると、休館日がないのは良いことだと思う。

会場	問4 具体的な気づきや認識の変化(問3①の人が回答対象)
旭	まちづくりセンターの今後のあり方について理解出来た。軌道に乗るまで、いろいろな問題点があると思いますが、良い方向に進んで行けば良いと思う。
弥栄	自治区制度が終了して、新たなまちづくりを考える中で、私達弥栄に住んでいる者にとって、人口が減少し、若者、子供が少なくなりつつある現状をどうしたら良いのか。私達は何をしたら? と悩んでいましたが、1つわかった事があります。とにかく自分達ができる事を頑張ってみよう!! みんなで力を合わせて頑張ってみよう。行政も応援してもらえるのだから…。との気持ちが強くなりました。よろしくお願いします。頑張ります。みんな協力して!!
弥栄	何をやるにしても健康が1番と、あらためて思った。80才。
三隅	地域の役に立ちたいと思う住民に対して、活躍の場をいかにつくるか。地域活動は、「めんどくさい」から「楽しい」「何かしたい」というマインドにいかにもっていくか。
浜田	過去に実行した「自助・共助」の在り方を検討し、次の可能性を検討したい。
石見	ある程度理解している内容ではありましたが、新たに気づいたこともたくさんありました。今日、出席して良かったです。
石見	沢山の公民館が地域に根ざした関わりをされていた。
石見	初めて参加しました。理念は大変素晴らしいことだと思いました。自分達の街は自分達で作っていきことに賛成です。しかしこの会に参加者が少ないのが気になります。質問できなかったことが大変残念でした。これからも各会場で再度説明会が行われるということなので良かったです。
長浜	協働でのまちづくりオンライン新鮮。市民との質疑応答、新たな知識学べた。
周布	まちづくりセンターとしての方向性が少し見えて来た。
周布	常に前向きに考えてまちづくりセンターの運営に参加していきたいと思っています。一人ひとりがまちづくりの主役である様、頑張っていきたいと思っています。
美川	本日の集会に参加して認識が変わった事は、利用の幅が広がったのかな。と思いました。個人の利益に繋がるような事でも、地域の皆を巻き込んで活動が出来る事なら、出来るのではないかと感じました。この地域には、店(食料品等)がなく、とても不便です。でも週1回でも何か販売を兼ねて、集える場所に出来るのではないかと思います。
美又	市民のみなさん方、全員とは言いませんけど、この話をしっかりと、話をききとり、意見を出し合い行うことが大事だと思います。

会場	問4 具体的な気づきや認識の変化(問3①の人が回答対象)
美又	地域の団結、一人一人が自覚して発展の為尽す、元気が大事だと思いました。
波佐	市の「本気」が見えて良かったと思いました。引き続き、公民館活動に参加します。
波佐	認識の変化はあったが「ばくぜん」としているのもので、その場になって、具体的な事に気づくことが今後あるので、期間をもって協議会を持って下さい。
小国	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館が各々の地域の特色を活かした、素晴らしい活動をされている事に敬意を表します。 ・超高齢者の身ではありますが、地域の底力としてしっかり支えていきたいと思えます。 ・今日は、大変良い勉強をさせて戴きありがとうございました。
小国	概ね理解していたが、本日の集会に出席してより理解が深まった。
小国	今まであやふやな認識でしたがたくさんの資料を頂き、理解する事が少しですが理解できています。丁寧に説明をいただきありがとうございました。
和田	公民館の各種制約が解放されより活動裁量が拡大したので期待が高まった。
和田	今回市民の参画が市民の役割として掲げてあるが、まちづくり事業への参加、関心が少ない状況で、これからどのようにして参画を増やしていこうとされているのかがわからなかった。
和田	協働のまちづくりだが役員だけテーマを作って動くのではなく市民ひとりひとりが出向いて動く、協働づくりに向って行ねばと思う。
都川	勉強になりました。
都川	今後のまちづくりセンターに期待します。
安城	社会教育もまちづくりも基本にそって協働でやれば出来るし、前に進む事が出来ると思った。
杵束	これからは市民が主役と発言がありました。これまでは市民は行政が指した政策にしたがってきたということだったと確認できました。自治区制度の弊害の一つに自治区地域振興基金の用途が市役所の職員が立案し施行されたものがあります。それらは数時間、数日かけての協議がなかったことは残念です。それらを検証し、第4条により意見を述べていきたいと思えます。
岡見	生涯学習の基本理念がわかった

会場	問4 具体的な気づきや認識の変化(問3①の人が回答対象)
岡見	公民館からまちづくりセンターへ 学習と実践の拠点機能→住民自治の確立 ボランティアスピリットアワード受賞(結プロジェクト)の例 地方にこそ、生きる価値を実現する宝がある。
岡見	各地域のまちづくりセンターへ副市長さんが出向いて下さるとの事はすばらしく思います。ますます行政との関係が深まってくるのではないかと期待したいと思います。
三保	子供から大人まで皆が集い、学び、つながり、地域の課題の解決に取り組み、心豊かな人づくり、まちづくりを推進する。
黒沢	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりセンターの位置づけが良く理解できた。 ・各公民館において知恵・アイデアを出し合い様々な取組をし、地域活動や教育活動をされている事を感じました。
黒沢	話しては聞いてはいたが、詳しくは知らなかったので、参考になった。コロナ禍の中、公民館活動も自粛しているなか、早く収まり活動が出来ることを望む。
黒沢	よくわからん？
黒沢	どこの公民館もそれぞれ頑張っておられることがよくわかりました。
黒沢	高齢者の多い地域なので、まちづくりセンターとしても置き去りにされない地域作りをお願いしたい。
黒沢	各公民館の活動が少しわかった。
井野	土日祝日の開館について、職員の不在ですが、委託の人員配置はないのか。
井野	「まちづくり」の範囲があいまいで、どれほどの地域の課題が解決できるのか？ 魅力を作り上げられるのか？ 疑問だ。
自宅	使用料について、個人で使用するためには必要だが、サークル活動など教育活動全般に関することには費用がかからないということがわかった。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
本庁	多世代の人が自己実現に向かって利用(参画)されるまちづくりセンターになってほしい。
本庁	市民主体のまちづくりの気運が高まり、多くの市民がまちづくりに参画していくことを期待する。
本庁	市民も行政も学びを深めること
本庁	今までとちがったまちづくりに期待しています
本庁	使用料や無料は良かった。
本庁	地域のまちづくりに今までより多くの人に関心を持ち参画されるのではないかと思う。退職される市職員・教員等公務員の地域活動への参加。
本庁	住民の参画・参加が促され、若者から高齢者まですべての人がこの浜田が好きになり、住んでいることに誇りを持つことにつながることを願っています。
本庁	全市が一体となること。
本庁	縦割から横割へ。地域、住民総参加体制をつくってほしい。
本庁	市民の意識が大いに高まることを期待します。そのために、納得(よくわかった)のいく説明が必要。
本庁	市の職員、退職職員の地域貢献に期待したい。今は全くと言っていいほど関わって来ていません。だから地域参画しないし参画しない理由になっている。考えてください。
本庁	町づくりセンターになっても社会教育を基盤とした活動を。イベント重視から事業重視に。例えば共生社会に向けて。
本庁	しくみも大事ですが、「人の心がいかに動くか」という視点での取り組み方に期待致します。具体的でなくてすみません。共にドロ腐く、汗をかいてまいりましょう。
本庁	協働のまちづくりには市民の参加が不可欠。そのうえでの適切な財政的、人的支援。
金城	各自治区に正しく地域に根づいた「まちづくり組織」となれば良い。
金城	市民の手による市民のためのまちづくりが進むこと。自分に何ができるか考え、できることを実施する意欲を育てること。
金城	周辺の話を見ると「単に公民館の名前が変わっただけだよ」という話をよく聞きます。住民のまちづくり参加意識の向上が必要。
金城	高齢者が多い地域(少子高齢化)では、少しは地域住民の負担が少なくなるのではないかと思います。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
金城	市民が生き生きと活躍出きる様にしっかりと市として支援してもらいたい。
金城	声かけ、集まりが大きくなっていくようだ。定年になっても地元の集まりを考えてほしい。協力するように。
金城	まちづくり活動を実践していない地域もあるので、全ての公民館の業務を揃えることは難しいが、進むべき方向性は合わせていけないと思う。
金城	皆さんが、参画して(まちづくり)地域が、少しでも元気になってほしい。
旭	新しい制度で大いにきたいする。不備があれば、2年3年で見直しも必要。
旭	活動の広がりや深まりが期待でき、住民の困りや問題と考えていることに手当てができると思われること。
旭	赤ちゃんからお年寄りまで市民が一体となった活動が期待される。
旭	自由度が増した。
旭	市民が条例を理解し新しいまちづくりが出来ることを期待する。
旭	進めながら変化に対応することをお願いします。
旭	まちづくりは、人づくりという言葉があるように、今の子供たちを30年後の主役に出来るように、私達が努力しなければならないと強く感じ、市民が主役となって進む努力をします。
旭	各地域で担い手が育つ制度、体制となること。
旭	地域の人が積極的にまちづくりに参加し、共に考え、行動し、魅力あるまちを実現してほしい。
旭	支所へ行っても知らない人が増えてきて行きにくいとの声もある中、やはり地元の職員の顔が見えると安心される。また地域をよく知っている。支所へ戻って(本庁から)これまでの経験を生かしてほしい。
旭	机上の空論とならないことを期待する
旭	人材育成の取組。高齢者にやさしいまちづくりを。
旭	市職員の地域への参加
弥栄	子どもから高齢者までの方々をまき込み多くの方が参加出来る協働のまちづくりに期待します。子どもへの支援、介護状態にならない高齢者への支援に公平な対応を望みます。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
弥栄	すばらしいまちづくり推進条例が素晴らしい事になる期待
三隅	地域のまちづくりに対して、きめ細かい助言や説明をお願いしたい。高齢者が多く、いろいろな事が伝わりにくい現状がある。市民に分かりやすい説明を要望する。
三隅	これまでのとりくみ、これからのとりくみをしっかり発信し、地域活動へかかわろうとする市民が増えること。
三隅	浜田市をより良くしたいという思いは、市民共通。加えて、これから「社会関係資本」の再編が本番。そこで行政と市民との信頼関係が損なわれてはならない。市が市民との相互信頼の源である自発的協力の力を増大し、これを協働の源とするため、積極的な関わりを持ち続けるよう期待する。
三隅	条例通りに皆が前向きに行動して進めば、努力しながら行動する事が大切で、共助を基に取組んで行く事。これ迄通り取組んで行けば、不安はない。今後も住民との連携を図り、活動を興す。
三隅	まちづくりに参加する人が増える
浜田	まちづくりイメージにあるように、地域と市が協働し、活気あるまち、笑顔あふれるまちへと近づいてほしい。
石見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のみなさんが、まちづくりの主役であり、地域社会に関心を持ち、出来るところから参加しようとする気持ちが高まること。 ・センター職員、市の職員が一丸となり連携し、協働のまちづくりが前進していくこと。
石見	老人も大人も子供もかわりを持って、浜田が大好きな場所と言いたくなるようになってほしいと思った。
石見	市民が少しずつでも地域の課題に気付き、又、その話し合いをする機運が出来る事を期待します。
長浜	防災・防犯に関すること。見守り・子育てに関すること。
長浜	カラーコピー機を入れて欲しい。(地域の拠点となるための備品について拡充して欲しい)
長浜	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーコピーができるようになるといい。 ・防災
周布	条例により、地域活動がより良く、変化していく。
周布	“吾がまち”と意識し、自主的・積極的にまちづくりに住民が参画すること。
大麻	まちづくり委員会を休止しているが、早く立ち上げて、地域にねづいた活動が出来ることを願います。高齢者の多い地域なので元気で長生きのため健康づくりと、サロン活動、福祉の町づくり。
大麻	人々の積極的参加

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
大麻	まちづくり休み中であり、再度立上げることが出来るとうれしいのですが、どうしたらよいやら？センターが自由に使用出来る様になるとうれしいことです。今まで制限があり……。
美川	場所の提供をしていただけるならば、何かを定期的にやってみたい。方向性を持って雑談的に話をして前向きに、近くの人(知り合い)に声かけをして、誰もが気楽に利用出来ると判ってもらいたい。
国分	他人まかせにしないように自ら参加しながら推進に寄与出来ればと思っている。是非参加しやすい導きをお願いします。
今福	地域住民の参加が増える
今福	公民館職員に期待する。自分達の町は自分達でつくることに!!
今福	市からの支援が拡充すること。人的・予算、特に知識を持った方がアドバイザーとして地域へ入られること。
美又	行政と市民・地域がしっかりと連携を図って、持続可能なまちづくり、住んで良かったと実感できるまちづくりができればいいと思います。
美又	人づくり
波佐	4月より浜田市協働のまちづくりがスタートします、各地区の特長を生かして、さらなる飛躍に期待します。
波佐	地域住民が地域の課題を考え、その解決に向けて、協働し年代を超えて、皆が学び合い地域を次の世代に継いでいく、それぞれが責任を自重し、自助、共助、公助の役割分担により、安心安全な住み良い地域にする行動をこれから始める。
波佐	今までの活動に加えて、浜田市やそれぞれの地域の新しい姿が見られる事を願っています。地域の強み生かす協働に期待します。
小国	行政(現役、OB)職員の活用を強く希望します。
小国	行政職員(現役・OB)の参加はもちろん参画して頂きたいと感じました。
木田	地区がにぎやかに成る事。
和田	環境保全(耕作放棄地、林地の放地)に努めたいと思うので、機械導入、作業員指導等を指導していただきたい。
和田	まちづくりへの市民参画が増えてくると期待しています。センターの職員が充実し、まちづくりの取りくみが広がってくること。
和田	行政(コーディネーター)支援
和田	まちづくりコーディネーターがどのように地域と関わり合って下さるか期待しています。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
都川	地区民全体にそれぞれがかかわるようになればいいです。
安城	協働の力を出し切りたいです。
杵束	協働のまちづくりが市民すべてが理解し、まちづくりが発展していく事は地域が元気になることだと思うので期待は大きい。
杵束	子育てのしやすい環境、将来子どもたちが笑っていけるような浜田市になっているだろう…。
杵束	素晴らしい条例のもとで今後新たなまちづくりがスタートし住民にとって住みやすい地域になることを期待します。
杵束	厚生労働省が指している共生社会の実現に向けて社会福祉協議会の役割りが重要で、この組織も協働のまちづくりの一員として参加してほしい。
岡見	島根-日本-の浜田市の人づくり協働のまちづくりの推進
岡見	まちづくりセンター職員の皆様の待遇改善を期待しています。5地域のセンター間の連携(横軸)活動強化を期待しています。
岡見	これまで続けてきた、生涯学習の推進、共育事業などが続くこと。また、職員の学びの場も、これまで以上に開催されること。
岡見	今迄以上に浜田市民が豊かな生活が出来る様
岡見	より多くの市民が参加し、より良い浜田市が出来る事を期待します。
三保	浜田市内26館+9館が発展することを期待します。
三保	今よりほんの少しでも魅力あるまちになること。
三保	競走することなく、地道に進めていける体制と支援作りをお願いしたい。
三保	今までやってきた事に少しずつ工夫をこらして行けばいいのかな!!
白砂	条例で明らかにしている事は良い
白砂	・市民の意見や意識・市職員さんのまちづくりへの意識が前向きになること。 ・退職された市職員さんの地域回帰、貢献だけでなく、現職の方々の力もまちづくりにとっては重要なので、その知識能力が活かされていくこと。協働なのでですから。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
白砂	地域が活性化し、明るく暮らしやすくなること。
三隅	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の地区や地域だけでなく広域で協働した事業が得意やすくなること ・社会教育を基にした地域づくりを更に推進できること
三隅	まちづくりの動き方が全地域でまとまりのある方向で進んで行くこと。
黒沢	子供や若者が少ない地域です。休耕田も多くふるさが荒れてきました。もっとそういった荒れた地域をなんとかしてほしい。イノシシや熊も多くなってきた。
黒沢	つながり、関係性
黒沢	次回
黒沢	自治区制度の廃止により、全体の浜田市の内容が分かる様になること
黒沢	条例を読んですばらしくまとめてありました。この条例が絵にかいたもちにならないよう期待しております。
黒沢	高齢化していく中で、どのように活動していけるのか。全員参加がはたしてどこまで？ 期待より不安の方が大きい。
黒沢	公民館でいろんな活動をしていくことができる
黒沢	条例が定めているように、名実ともに全員参画の社会になること。
井野	今後も今以上に住みやすく、個々が幸せに暮らせる様に
井野	小さな地域の活動に期待する。
井野	財政支援
井野	「浜田市協働のまちづくり推進条例」基本理念(第3条)が今迄一部の人が取り残されていた事もあったが、そのような事案がなくなれば良いと思う。
井野	新たなまちづくりの説明等行って下さい。
井野	住民全員が「まちづくり」に参画する…期待でもあり、不安でもある。
井野	少子高齢化地域にも、支援によって若い力の投入があり、活力あるまちづくりの推進がなされていくこと。

会場	問5(1) 新たなまちづくりに期待すること
井野	活力有る地域となりますように
井野	少なくとも今までの活動が続き、活性化ある浜田市が継続できるであろうこと。
自宅	本当に立派な条例だと思います。人と人とのつながりを大切にして、もっと自分の住むまちが元気になることを期待します。私は、いろいろな面で、行事に参加したり、町内の世話もしています。もっと多くの人たちが積極的にまちづくりに参加してほしいと思います。
自宅	これにより、各地域の特色のある活動が活発に行われるようになることを期待する。
自宅	これまでの公民館の維持管理は、教育委員会の予算が少なく、雨漏も空調の不具合も手当てが行き届いていない。管理を早期に市長部局へ移して適正な管理を期待する。
自宅	自治区廃止で、地域間でのサービス格差や不便さ拡大がないよう、地域の声が届く仕組みの確保を期待する。
自宅	自治区制度廃止したことで、地域の住民が不便な生活をしいられない様に絶えず地域のニーズをすいあげてほしい。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
本庁	「6条2項後段の市民からの質問に誠意をもって回答する」ということについて、パブコメでの回答が「承る」ていどのことだったので「条例に反するのではないか？」と石本教育長にきいたところ「R3年4月1日施行だから、それまでは違反にならない」と言われた。不安だ。
本庁	公民館の利用者は固定化されているように思われるのに、センター化されてもその活動の広がりが可能かどうか。
本庁	地域ごとに構成人員のちがいや人数、リーダーの存在などのちがいがある中で、特色のあるまちづくりにつながっていくこと。経済的不安層が拡大している現在、どこまで自分ごととして考えてもらえるか。
本庁	行政の力量。伴走力の低下。
本庁	高齢者の多い地域です。多くの方に参画して頂くには、時間もかかりそうですし、理解しやすい活動も大切だと思いますが大変です。“活動の輪”このことばが心にのこっていますが……むずかしいです。
本庁	まちづくりセンターと地域まちづくりの位置付けがどうなるのか、明確にしてもらいたい。
本庁	センター長・主事が地域の一部で決定されるのではないか。地域協議会委員の選任の不透明性。(選任過程の明確化。)
本庁	市から課題を意識させてもらい、組織・拠点が作られ、活動費が渡されても、まちづくりはうまくいかない。こうした事例が全国・県内に多く(ほとんど)ある。どのようなサポートを市はされるのか? 不安がある。
本庁	地域の分断がすすむこと。
本庁	スタートラインに立った。号砲は鳴るのか。地域が住民がスタートするのか。取り残されている住民、分野がある(自主防災会、社会福祉協議会、地域安全推進委員ほか)
本庁	充分コーディネートのできる人材の育成が大切だと思います。
本庁	市民参画が強く出されているが、どこまで住民が本気になるか、心配である。
本庁	地域に力がもうありません。そんな地域は、これからどうすればいいのか不安です。
本庁	町づくりコーディネーターを各地域にバラまく事。5名の連けいが取れるのか。地域に詳しいより、新たな視点を求めたい。
本庁	名称が長い。「まちづくり」はイラナイ。
金城	合併後各自治区において住民サービスへ差が大きくなったと思う。協働とはいえ自助努力だけでは新しいまちづくりは困難です。目に見える形で進めていただけるだろうか。
金城	市民のまちづくりに対する意識化。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
金城	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会の事務所はまちセンでいいのか。 ・まちセンの機械他は自由に使えるのか。 ・まちづくり担当主事は専従でやってくれるのか。
金城	4月から公民館のコミュニティセンター化が始まるのだが、主事などの人事はすでに決まっておられるのか。また、まちづくりセンターと地域住民がどのように事業をすすめていくのか不安です。
金城	各地域間で格差が出ないように予算配分、活動内容を精査してもらいたい。
金城	集まる時が少なくなるのでは。
金城	センター長は、いろいろな立場や責任を負うので、しっかりとした給与は考えてほしい。
金城	少子高齢化で人口減少！集落の維持が困難になりそう。
旭	支所長さんは職員でおられますので、各地域協議会及び会長がリードを取ってほしい。
旭	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の様に気軽さや楽しみ、親しみが続けられるのだろうか。 ・「人的、金銭的、技術的」支援を拡充するとのことだが、具体的に見えず心配だ。 ・5年間10億円の支援がされる様だが、5年間で終わりになるのだろうか。それ以後はどうなるのだろうか。不安に思う。
旭	高齢化の中で人的サポートが必要。
旭	活動資金が継続的に確保できるか？
旭	自治区長の廃止により、旧市町村の意見が市に届きにくくなることのないように。
旭	浜田・金城・旭・弥栄・三隅が独立してまちづくりを行っている点が不安である。5地域が協働のまちづくりを行い、交流の場を提供していただきたい。
旭	<ol style="list-style-type: none"> 1.所管が市長部局へ移ることで、社会教育・生涯学習の推進にマイナスとなるように思う。 2.施設利用の有り方に問題を感じる。
旭	各地域で担い手が育つ制度、体制となることについて、現時点では具体策が示されていないこと（我が地域は独自に取り組めますが）
旭	地域が高齢化して参加しにくい。
旭	自治区長の廃止に伴い、これから地域の困り事（様々）等反映されていくのだろうか。副市長が各支所を回るとあったが、体身は1つで全地域を回るのは無理である。支所長は地域愛がしっかりある人がいいな。
旭	まとまりのある住民することは難しい

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
旭	職員、人材の不足。なりてがない。
旭	市職員の地域への参加
弥栄	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりセンターの人材 ・高齢化率が高い地域では、高齢者が自分の田畑の耕作を守るために働いておられる。高齢者の方の知恵を引き出される体制づくりも考えてほしい。
弥栄	地域は高齢者ばかりで農地の先々が心配
弥栄	コーディネーター、まちづくりでカギをにぎる。良い人願う。
三隅	まちづくりセンターになって、使用制限がなく公の秩序に反しない限りとあるが、どの範囲なら良いのか。業者の物品販売はOKとあったが、他の例は何があるのか。
三隅	市民への広がりをおいかににつくっていくか。
三隅	「浜田市協働のまちづくり推進条例」等を制定する事が、あたかも自治区制度と代わる制度への整備完了とみなされ、その実が、浜田・那賀方式自治区制度の「あいまいな喪失」とならないよう願う。
三隅	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに参加するときの交通手段が充分でない。 地域で生活していくための交通手段が充分でない。
浜田	本来行政がすべき事を地域に押しつけられるのではないかと、一番心配である。
浜田	条例で方針は示されたが、具体的にどう進めていくのか。きっかけとなる「人」と「こと」がでてくると良いが、引っぱる人がいないとなかなか進まないのではないかと。行政のリードが初期は求められるのではないかと。
石見	・まちづくりセンターが担う、具体的な取り組みに対してのサポート体制。適正配置でないセンターの不平等感の軽減など、市は寄り添ってもらえるのだろうか。
石見	この街づくりに参加者が増えるようにもっといろいろな方法で広報していただきたい。
石見	石見まちづくりセンターは、人口約12,000人、世帯数約6,000世帯と巨大です。自治会も多く有り、地域の課題・特色をどのようにして共有し、解決に進めるか。(現在進行している所もありますが…)
長浜	一人住まいの高齢者の安心・安全に関する事。
長浜	エアコンが壊れている。建物が老朽化しているが、中山間地域活性化の資金で修繕してもらえるのか。
周布	各地域の「まちづくり委員会」との関わりと、委員会未設立地区の設立への展開。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
周布	“まちづくりセンター”や一部の住民に寄りかかり、住民や諸団体の連携が本当にとれないこと。
周布	まちづくりにどの様に参画したら良いのか…。
大麻	地域が小さい所なのでリーダーが少ない(人とづくり)
大麻	若者が参加してくれるのか…。地域のやりたい人だけとか偏ってしまい、孤立する人が出てこないか不安。
大麻	再開したくても……どうなることやら？
美川	近隣の方々は、年齢の高い方が多く、物事を始めても続けていけるか。不安。
国分	私的な事ですが、ある武道をやっていますが、設備が市のものではなく不自由な思いをしています。浜田は県の中央というメリットがあるのに設備が無く残念です。若者も多く参加してくれるのですが、不便なため中半でやめてしまいます。こうした事も検討してもらって若者が定着する町づくりをしてもらいたい。
今福	3年後から市の支援がなくなるかもということ。
美又	自治区長がいなくなることで、地域協議会や市民の声が行政にとどかなくなるのでは心配です。
美又	一番不安なことは一部の人しか条例について知らない状況が起こらないか心配です。
波佐	今から不安な事を思い、考える事はない。前進あるのみ!!
波佐	人口の減少で、地域力が益々低下して行くこの状況に拍車がかからない様にと願っている。
小国	まちづくりセンターにまちづくり機能を加えられるとどこまで出来るか考えさせられる。
小国	センター職員としてやっていけるか不安になった。(「拠点」という言葉にこれからどのようにやっていくのか不安である。)
木田	地域の交通の便がわるい。バスが少ない。
木田	他地区との交流になかなか出て行けない。
和田	・担当が育たない。 ・高齢化が進む。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
和田	まちづくりセンターの運営方式について、当面は市直営となっているが、将来的にはどうなるのか。
和田	「市から地域へ」地域の協力。意識。地域課題。新しい事業を始めるにも高齢化、負担などで話が進まない。今ある物ですらへらしたいと意見が出る。
和田	地域の各種団体で構成されている現「まち推委」とのイベント等の役割は？共催とかサポートとか
和田	地域の格差ができるのではないか。
安城	話がうまく伝える事、理解する事が出来ればいいと思う。
杵束	何かをする時進めるには人、コーディネーターの資質にかかわってくると思われる。市民が頼ってこれるまちづくりセンターに本当になれるのだろうか不安な所もある。それには財政的支援の充実が求められるし、5年間という限られた年限でのその先が見えない不安が大きい。
杵束	先が見えない。
杵束	「市民が主役の協働のまちづくり」といっても、市民が行政、まちづくりセンターに期待する部分は大きいと思う。先が見えない中で結果を急ぐ傾向にある市民の声も予想され不安を感じる。
杵束	行政が召集する会合がウイークデイの昼間に開催されるケースがあります。市職員は職務として有給に対し住民は仕事を休んで出席しています。これは協働のまちづくりとは思えません。
岡見	地域の皆さんが利用しづらくならないように。
岡見	新型コロナ禍で安心して暮らせる様になるように
岡見	ボランティア活動が増えるのではないか
岡見	新しい条例であり、運用がうまくいか不安である。
岡見	まちづくりへ参画する人はどのくらいいるのか？特に若い人の参画が少ないと思われる。
三保	まちづくりの体制が整っていない地区があること。
三保	土日祝日等、職員不在日に営利目的業者などに貸出する場合、カギを預けるのはどうか。
三保	まちづくり推進条例を作ったことがゴールになってしまわないか。
三保	今までやって来た公民館事業とまちづくりセンターが行う事業と、どう違うか。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
三保	地域住民がどれだけまちづくりを意識しているかを考えると、進めていくことが限られ、難しいのではないかと。
白砂	条例だけでは進まない。補完を明らかにする為、制度化が必要では。
白砂	今回のような突発的共催等の依頼により本質がブレたり、本来のねらい目的とする事業が行えなくなる事。
白砂	社会教育が衰退すること。
三隅	社会教育を担保してほしい
三隅	「自治区」から「地域」に変わることが市民に影響する(悪くなる要素)が検証されていない。何の問題が生じてくるか不安になる。
三隅	今まで、公民館には生涯学習推進委員や放課後子ども教室などで大変お世話になりつつ、まちづくりのメンバーとしても様々な活動に参画してきている。 名前や仕組みが変わると、今後は今までの社会教育、生涯学習の関係は、教育委員会とは縁が切れるという意味ですか？今後もまちづくりセンターの中で教育委員会が任ってきた様々な活動が、引きつづき魅力ある活動であることを望みます。
黒沢	市役所がまたまた遠く成る。立派な事を云われますが、最後は人が対応します。それが中心に集まり片いなかは不便に成る。
黒沢	人口減少地域においては協働のまちづくり運営においてたずさわった人間に年々負荷が増加していくおそれがある事。
黒沢	人口が少なくなってきて、公民館へ来るだけでも大変な人が多いです。これから先が安心して暮らしていけるか不安です。
黒沢	人口減少に伴い町づくりが機能しなくなる事
黒沢	最低でも、今までの事が守られること。奥部が置き去りにならない様に
黒沢	限界集落に近いような地域では、自助ではやっていけない。共助も期待出来ない。公助がたのみです。公的支援をもっとふやしてほしい。
黒沢	内容は理解してもそれが行動につなげられるか。
黒沢	参加する役員の高齢化。まかせきりにしたための縮小してなくなっていくこと。事務が多忙・複雑になり、人数をふやしては。
黒沢	まちづくりの施策が強制的になりはしないか。
黒沢	現実には、誰もやりたがりません。果たして上手く機能するやら心配。

会場	問5(2) 基づく新たなまちづくりに対して不安なこと
井野	人口減少、高齢化
井野	人材不足の心配。Uターン組が少ない。支い手の減少。
井野	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になって来ると、協働のまちづくり参画と言われても、現在以上に参加する事はむづかしいと思う。 ・若い人が少なくなっているのに、仕事ばかりと言われても困る。
井野	市民参画を重要視され、声をあげることが苦手な場所は置きざりにされていくのではないかという不安。人口等による地域格差が増大していくのではないかという不安。(権利行使の差)
井野	他地区から移住してくる人にもまちづくり推進条例の主旨が伝わるかが不安。
自宅	浜田市は、全国的にも県内の中でも災害は少なく、恵まれている方だと思います。何か大きな事が起きた時の対応が遅れるだろうし、ひとりひとりの危機感が薄いと感じます。何事もないことが一番良いのですが、日頃からの備えが必要です。
自宅	会計などのやりくりが慣れていない地域住民に任されることがないようにして欲しい。また、人材不足で一部の地域住民への負担が大きくなるようにお願いをしたい。
自宅	将来、まちづくりセンターの建物等の維持管理費まで地域へ押し付けられる恐れがある。それら施設の将来的な維持管理方針を示してもらいたい。

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

浜田市協働のまちづくり推進条例について

1	市長の回答に「推進条例をもって住民に対するメリットを生むものではない。あくまでも、自治区制度の思いや理想をつなぐものである」との答弁にガッカリした。住民は新しい施策を期待しているのであり、メリットのない条例は不要だ。	この条例は、これからのまちづくりの「基本的なルール」を示したもので、その施行をもってメリットが生じるものではありません。 しかしながら、条例に規定されたルール（「考え」や「行動」）を皆さんが理解し、継続していくことで、将来「全ての人が一体となった持続可能で元気な浜田」が実現されるものと考えます。
2	4月から条例施行ということだが、誰が何をすすめていくのか、地域はどう動いていけばいいか、そういった具体的なところをもっと説明してもらいたかった。	この条例は、これからのまちづくりの「基本的なルール」をお示したもので、条例の施行によって、これまでのまちづくりが大きく変わるものではありません。これからの具体的なまちづくりの手法については、市民集会や説明会を開催するなど、今後も協働のまちづくりの周知に努めてまいります。なお、地域に出向いた勉強会等についても実施させていただきますので、担当課までお知らせください。

まちづくりの主役について

3	誰が主役となるのか難しい問題もあるが、市民が主役として努力して行かなければならない。誰が主役となるのかな？	条例の基本理念では、「まちづくりに関わる一人ひとり」がまちづくりの「主役」として規定しています。誰が主役ということではなく、それぞれが「主役」であることを認識し、持っている特性や得意分野を活かすことで、協働のまちづくりが進んでいくものと考えます。
---	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市民等の権利と役割について

4	質問に対する回答が、とてもわかりやすく、すぐに答えらえていたのには驚きました。どんな質問があっても回答ができるようにしてあったのだと思いました。市民の期待が大きすぎると感じます。期待をするのなら、もっと協力をしないとダメだと常日頃思っています。	条例「基本理念」に規定していますとおり、これからのまちづくりは、市民の皆さんが主体的に関わっていただくことが必要です。市としての役割はしっかりと果たしてまいります。みなさんの積極的なまちづくりへの参加に、ご協力をお願いいたします。
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市職員の育成及び参画促進について

5	市民の役割の中にまちづくりに参加とありますが、市の職員さんの参加を強く求めます。退職者だけでなく、現役の方々も一市民として率先して地域に協力してほしい。	地域活動への市職員の参画については、同様の声をたくさんいただいており、日頃から声をかけ、喚起しているところです。 また、3月に「協働のまちづくり」に関する職員研修を実施し、地域活動への積極的な参加について、改めて周知しております。
6	もっと現実的なお話しが聞きたかったし、聞けると思った。実際に苦勞されている人の体験談を聞いて、自分も変わろうと思っていた。市職員が地域とは遠い存在。何か違うと思っているので、条例で定められた行動に期待する。特に退職職員に出番が必要。	この度のオンライン市民集会では、時間に限りがあり、先進事例や体験談等をお伝えする機会がなく大変、申し訳なく思っております。 その様な情報交換の場として、今年度も市民集会等を開催し、先進事例の紹介や、情報共有の場を設けてまいります。 また、退職される職員には、地域に積極的に参加するようお伝えしているところです。

市民参画について

7	条例第2章第4条の市民の権利については評価できるが、意見を聴くだけでなく、自分たちのことは自分たちで決めるといった意思決定プロセスに加わることが本当の市民参画であると考えています。行政職員内の社会教育や市民参画についての理解、学習を（市民もですが）しっかりお願いしたい。	市民の皆さんから頂いたご意見については、しっかりと尊重した上で意思決定していくことが、「協働のまちづくり」に繋がるものと考えます。全てのご意見を反映することは難しいですが、できない理由については丁寧に説明し、ご理解いただけるよう努めてまいります。この点については、3月に市職員向けの研修を実施し、意識の醸成を図ったところです。
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

情報提供・情報公開について

8	<p>条例第16条「まちづくりに関する情報をお互いに広く発信し、収集することにより、その情報を共有するよう努めるものとする。」とあります。市が重要な方針及び施策について審議するため行われている庁議について、先進的な市では庁議の結果について公開しています。現在の浜田市では庁議の内容を公開されておらず、重要な方針や施策が策定される過程を知りたく、市長や部長、課長がどのような判断材料をもとにどのような議論をしたのか見えません。議会のように資料と会議録を（要点記録を）公開して欲しいと思います。そうすることで方針や施策の策定プロセスが市民にも明らかになり、市の議論にない情報や考え方が寄せられたり、透明性が格段に向上し、市民の市政への関心も高まります。市長の説明にあった、②市民の皆さんにさせていただきたいことの「まちづくりに関する情報を知ること」に当たり、知った上で「まちづくりに参画し意見を述べること」につながります。個人情報や特定の企業等に損害を与える内容については黒塗りや削除すればよく、やっている自治体があるので、是非取り組んで下さい。</p>	<p>市が政策決定を行う過程で、そのプロセスを公表し、また、広く市民のご意見を聞くことは大変有意義なことでもあります。</p> <p>こうしたことから、重要な方針や政策等の決定に当たりましては、パブリックコメント等の制度を実施し、プロセスの公表や市民の意見を広く聞くこととしております。</p> <p>ご意見にありますように、庁議において市政に関する重要な方針や施策について審議し、その後、上記のパブリックコメントや市議会等を経て正式に決定いたします。</p> <p>このように、庁議での審議は正式決定に至る過程であるため、会議録の公表につきましては現在行っておりませんが、ご指摘の趣旨も踏まえ、先進市の事例も参考にしながら研究したいと思います。</p>
---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市政運営の仕組みについて

9	<p>地域と向き合う、地域の実績や住民の声を行政に反映させる具体的な仕組みをつくり、出された事を施策化し、改善し、地域、住民に帰す。このような具体的な目に見える市政運営の仕組みをつくる必要がある。どうぞお考えか。</p>	<p>住民の声を反映させる仕組みについては、条例の第9条「市民参画の方法」と、第10条以降の「地域協議会」に規定しています。第9条に規定している審議会や説明会等を実践に実施し、各地域協議会を中心に議論を重ねていくことで「目に見える市政運営」に繋がるものと考えます。</p>
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域協議会について

10	<p>地区まちづくり推進委員会の中に地域協議会のメンバーを入れるといい。よって地域協議会はいらない。</p>	<p>地区まちづくり推進委員会は、地域の様々な人や団体等と連携し、まちづくりを進める地域運営組織であり、地域協議会もメンバーもその一員として連携協力することも重要と考えております。なお、地域協議会の役割としましては、市の重要施策や地域の施策や課題等について調査審議するとともに地域の声を市へ届けるという重要な役割を担っています。</p>
----	--------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

パブリックコメントについて

11	<p>パブコメの誠意のない回答（市の考え）が、4月1日施行条例に反している。指摘したら4月1日までは問題ないと回答された。こういう対応について、誠意ある説明をしてほしい。条例の趣旨にそった対応があつてしかるべきだと思うが、石本教育長からこの態度では変わるはずがないと思うが、どうか？</p> <p>パブコメに対し、市の考え方を示すことになっている。議論をし、条例を制定したのなら、施行されていなくてもそういう対応をすべきではないかと思っている。6条2項後段に「市民からの質問に誠意をもって回答する」とあるにもかかわらず、「施行前なので守らなくても問題ない」という態度（教育長ともあろう人が）は、「仏作って魂入れず」になるようで不安だ。納得のいく説明をしてほしい。9条2項にもパブコメのことが書いてある。しかし、不安だ。</p>	<p>従前から、全職員に対し「市民の皆さんから頂いたご意見等については、誠意をもって対応し、回答や説明に対しては、分かりやすく丁寧に行うよう」市長より指示してまいりました。このことについては、市の職員としての基本的なことであり、パブリックコメントへの回答のみならず徹底してまいります。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

「協働のまちづくり」に係る検証について

12	1年ごとに進捗状況について検証してほしい	条例の第21条「推進体制」に規定していますとおり、協働のまちづくりに係る推進計画を策定し、その進捗状況について検証していくこととしています。
13	「地域の個性を活かした一体的なまちづくり」実施のため、この道具（条例）に適宜、検証を加えてもらいたい。 また、実施に際しては、まずは平成27年3月浜田市議会一般質問にあった「小さな単位を尊重、優先する住民自治は地方自治の本旨であること、車の両輪たる「団体自治」と「住民自治」を融合していく見識や認識を小さな単位の実践から育てていく事を整理すべき」と考えている。	条例の第21条「推進体制」に規定していますとおり、協働のまちづくりに係る推進計画を策定し、その進捗状況について検証していくこととしています。 なお、検証方法や検証項目については、いただいたご意見も参考にさせていただき、推進計画策定に併せて整理してまいります。
14	3年間を検証期間にすると説明を受けました。検証内容や結果を単年でも途中でも、まちづくりセンターや市民にしっかり教えてほしい。	積極的に情報発信するようしてまいります。

住民周知について

15	市民全員（全世帯）に周知出来る様にして欲しい。	「協働のまちづくりの推進条例」のパンフレットを、広報はまだ4月号に合わせて全世帯に配布させていただきました。 また、地域に出向いた勉強会等についても実施させていただきますので、担当課までお知らせください。
16	推進条例をしっかりと読みまして、お聞きしたいです。今後共、宜しくお願いいたします。	地域に出向いての説明会を実施する等により、周知しております。お気軽にお問い合わせください。
17	4月から始まることなのに、市民全体への説明等遅すぎると思います。	説明会の開催が遅くなり申し訳ございません。 今後、地域に出向いた勉強会等についても実施させていただきますので、担当課までお知らせください。

説明資料について

18	ワンペーパーで説明できる資料として欲しい。	「協働のまちづくりの推進条例」について、分かりやすくまとめたパンフレット（通常版と中高生版）を作成し、ホームページで公開しているほか、市役所や各まちづくりセンターなどにも置いておりますのでご活用ください。
----	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

情報交換の機会について

19	資料と共に説明して頂き理解できました。浜田市の協働まちづくり協議の情報交換の機会があれば良いかと思えます。	「協働のまちづくり」を進めて行く上で、他の地域等との情報交換の場は欠かせないものと考えております。今年度も市民集会等を開催し、先進事例の紹介や、情報共有の場を設けていることとしています。
----	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

まちづくりセンターについて

20	これまでの公民館という礎があったからこそ協働のまちづくりに移行できるのだと理解した。まちづくりセンターが次代の拠点の礎になることを期待致します。	社会教育を基盤としたまちづくりを推進し、より地域にとって利用しやすい拠点施設となるよう努めてまいります。
21	前は、公民館の活動で営利を求めてはいけないとあったが、これからは営利を追求する活動を展開しても良いという考えて良いのか。	まちづくりセンターでは営利活動も可能です。地域の自主財源確保等のために積極的にセンターをご利用ください。
22	財政支援につき、格差が生じない様(まちづくりセンター)にしてほしい。	各まちづくりセンターが活動するための財源につきましては、1センターあたり50万円を基本としており、地域による差はありません。
23	各地区のまちづくり推進委員会との関係、まちづくりセンターとまちづくり推進委員会との関係が不明。	地区まちづくり推進委員会の事務局を担い、センターが核となってまちづくり活動を「推進」する場合やセンターは、事務的なサポートや情報発信などの「支援」を行い地区まちづくり推進委員会が主体的にまちづくり活動を展開する関係など、地域の状況に応じてセンターに求められる役割や地区まちづくり推進委員会との関係は変わると考えております。また、地区まちづくり推進委員会が設立されていない地域やその活動の充実が必要な地域では、設立に向けた意識醸成やまちづくり活動の「促進」の役割が重要となります。
24	子ども達や高齢者が主役となるイベントは多くあるが、大人が主役となるイベントが少ない。そういう一親や引きこもりの大人を主役にする何かイベントを充実してもらいたい。	いただいたご意見をまちづくりセンターにも共有し、事業実施の参考とさせていただきます。
25	これからまちづくりセンターとなる、今までの公民館の活動については他の公民館活動が良くわかり参考になったのではないかと思うし、それぞれの地域の特色を織りこんだものとしてこれからのまちづくりセンターの活動にも進んで取り入れてもらいたいし、新たな事柄にも取り組んで欲しいです。	今年度よりまちづくりセンターの活動に関する予算も増やしておりますので、新たな事業にも積極的に取り組んでまいります。
26	各公民館の取り組みについての資料がとても参考になるので、いつでも閲覧できるようにしておいて欲しい。現在もできるのかもしれませんが、この地域はここに力を入れているというのがわかりやすくてよかった。他の地域が活動を行う上で参考にしやすい。	公民館の資料につきましては、まちづくり社会教育課執務室内にありますので、いつでもご覧いただけます。
27	長畑先生の講話に専門大学での「ボランティア」についての講義のお話がありました。地域づくりのマネジメントには、ボランティア意識の養成・活用がまちづくりセンターの役割として必要ですので、学生と市民・職員が同時に学べる公開講座を行っていただきたいです。そうすれば、地元専門大学が地域に受け入れられ、地域とつながっていくのではないのでしょうか。	公開講座につきましては、各学校と開催の可否も含めて協議をし、検討してまいります。
28	地域のまちづくりは、自治会・社協・体協・老人会・みまもり隊・公安協などそれぞれ上部団体のもと実施している。まちづくりセンターが行うまちづくりは、これらとどのように関わることになるのか。まちづくりを行う団体がまた1つ増えただけにならないか。	まちづくりセンターは市の施設であり、職員は市の職員(会計年度任用職員)になります。地域のまちづくりを支援する側として、今後関わっていくこととなります。
29	センター長は、市の退職者を充てたい旨のことだが、資料「Q&A」の問答と整合性に疑問を感じます。市の方針を伝えることは大切だが、そのことに重点が置かれているように思われました。運営は自主運営が基本と思いますが、如何でしょうか。	まちづくりセンター長につきましては、各まちづくりセンターの運営推進委員の皆様と協議した上で、市が選任いたします。その候補の中に、市職員OBが含まれる場合もあるかもしれませんが、基本的には地域の意向を踏まえて選任するものです。

No.	問6 意見や質問	回答
31	まちづくりセンターの職員は、地域住民の活動の支援をおこなえばいいのだと理解していましたが、今日の説明ではまちづくりをおこなう…という説明だったように思いますが、この理解でいいですか？	まちづくり活動の主体はその地域の住民の皆様であり、まちづくりセンター職員はその活動の支援を行うこととなります。
30	センター長1名、主事2~3名とあるが、浜田自治区の公民館では、他事務員が多くおられますが、今後はどんな体制にしていけるのか。全体的に平等性を考えるのなら、減らすべきではないか？	センター長1名、主事2~3名の体制はどのまちづくりセンターも同じです。センター長につきましては、月131時間45分勤務を基本としつつ、地域の実情に応じて月80時間又は52時間勤務も可能としております。 浜田地域に限らず、センター長の勤務時間が少ないセンターにつきましては、勤務時間の差の範囲内で事務員を雇用できることとしており、そのルールのもとで浜田地域のセンターは事務員を雇用しております。 事務員に限らず、今後のセンターの職員体制につきましては、引き続き検証してまいります。
32	運営方式について当面直営との事であるが、指定管理者とか、協議会如き団体への移行も視野にされているか	ご指摘のとおり、施設の管理運営には指定管理や委託という手法もありますが、どのような形が地域にとって一番良いかを3年かけて検証してまいります。
33	センター規模(人口・世帯など)が大き過ぎます。適正な配置を考えて下さい。	石見まちづくりセンターのエリアにつきましては、ご指摘のとおり浜田市内で最も多くの人口、世帯数があります。施設の適正配置につきましては、引き続き検討いたします。

まちづくりコーディネーターについて

34	まちづくりコーディネーターを市全体で5名程度配置予定になっているが現時点で確保されているのか？	令和3年4月より6名のまちづくりコーディネーターを配置しています。なお、各まちづくりコーディネーターについては、市ホームページにて紹介しています。
35	まちづくりコーディネーターの選出については男女協働参画の精神を骨柱として適任者を選出して頂きたい。	6名のまちづくりコーディネーターの男女比につきましては、男性4名、女性2名の2:1となっており、男女共同参画の視点も踏まえて選任しております。
36	コーディネーターは大きな意味をもつもの。協働のまちづくりの目玉である。よき人材を位置づけることを考えなければならぬ。市としても積極的に取り組んで欲しい。	6名のまちづくりコーディネーターにつきましては、地域活動や社会教育、福祉等の専門分野を活かしながら、地域やまちづくりセンターと連携し、まちづくりに取り組んでまいります。

派遣社会教育主事について

37	現在、派遣社会教育主事が2名配置されているが、まちづくりセンターになっても、社会教育の部分でアドバイスをもらえるのか？ それとも廃止になるのか？	2名の派遣を継続いたします。
----	--------------------------------------------------------------------------	----------------

人材育成について

38	人材育成について、具体的に提示してほしい。	条例では、市民等及び市は、協働のまちづくりを推進するため、生涯学習を基盤とした地域活動を担う人材を発掘、育成していくことが重要であり、子どもや若者が「ふるさと教育」をはじめとする社会教育活動や、地域の行事など、まちづくりに参画できる機会を積極的に設けることで、将来を担う人材の発掘と育成を図ることができるとしてまいります。
39	今まで、市長部局が推進されて来たまちづくり、人づくりの作業はどのようにされてきたか。情報がほしいです。	毎年まちづくりに関するフォーラムを開催し、住民主体のまちづくりに向けた意識の醸成を図るとともに、まちづくり総合交付金や市民協働活性化支援事業等の各種補助事業により住民自治組織や市民団体の活動を支援してまいりました。 引き続き、地域づくりを担う人づくりを進め、地域や市民団体との「協働によるまちづくり」を推進してまいります。

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

「まちづくり」のイメージについて

40	“まちづくり”とは何か。この点の認識を深め、イメージを共有していくことが大切だと思いました。	ご意見をいただいたように、「まちづくり」に対する認識を深め、イメージを共有することは、「協働のまちづくり」には欠かせません。 そのためにも、一人ひとりが、地域活動に積極的に参画し、地域とコミュニケーションを取っていくことが大切です。
41	協働のまちづくりオンライン市民集会とある説明で、最後のページのイメージ図を見て私達の地域の手をつけている所、つけていない所がよくわかり、これからのまちづくりの参考になりました。活用して住民主体の地域づくりをしないとイケないと強く感じた。言葉だけでなく資料がありとても良かったです。	ご意見のイメージ図は、まちづくりセンターを拠点とした協働のまちづくりを表したものです。「全ての人が一団となった持続可能で元気な浜田」の実現に向けて、市民のみならず市が同じ絵を描きながら協働のまちづくりを進めていく必要があると考えております。

地域内での協力体制について

42	高齢者が多くなる中で代表者のいそがしさが心配。協力をする事が第一。	地域の皆さんがまちづくりの主役であることを認識し、それぞれの立場や違いを認め合い、自らができることを考え補い合うことで、持続可能なまちづくりが可能となるものと考えます。
----	-----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

持続可能なまちづくりについて

43	井野地区でも限界集落がせまってくる地域も出て来ている。そんな中で、10年後に若い人が戻らない又高齢者ばかりで何も出来ない状態になった時に、この取りくみが存続できるのか、考えさせられます。	今後、人口減少・少子高齢化社会における担い手不足やそれに伴う地域活動の衰退が危惧され、ますます協働によるまちづくりが必要となると考えております。また、持続可能なまちづくりに向けて、各地域の10年後、20年後を見据えた事業計画や組織体制などの見直しも必要に応じて進めていくことが重要と考えております。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

過疎地域・高齢化地域への取り組みについて

44	過疎の高齢化地域への取組が見えなかった。	条例の第20条「市による推進」に規定していますとおり、地域の実情に配慮した上で、協働のまちづくりの推進に必要な支援を行うこととしています。具体的には、まちづくり総合交付金の年少人口や高齢化率による加算や、中山間地域振興枠の創出により高齢者への見守り支援等、過疎地域への支援を実施していくこととしています。
----	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中山間地域振興枠について

45	地域活性化金10億について 1.各まちづくりセンターから希望等が出ます 2.各希望事項の取上げ、取下げの決定権の場所は？ 3.取上げ、取下げの項目事項は？	中山間地域振興枠(5年間、10億円)を活用して実施する事業につきましては、部局を横断した「中山間地域対策プロジェクトチーム会議」において、中山間地域の振興及び課題に対する事業の実施を検討してまいります。
----	----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

避難所について

46	現公民館においては、防災の受け入れ設備、備品不足があります。高齢者が安心して避難できるよう備品の充実をお願いしたい。	公民館に事前配置する設備、備品には制約があり、本庁及び支所にて集約して備蓄を行っています。避難所開設時は、避難者数、ニーズなどに応じて必要な設備、備品を避難所に搬入をすることとしております。 また、災害時の協定を複数事業者と結んでおり、不足が見込まれる設備、備品については、事業者から搬入してもらう準備もしております。 設備、備品の購入は毎年行っており、今後も充実をさせていく方針としております。
----	------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

No.	問6 意見や質問	回答
-----	----------	----

専門学校・大学連携について

47	専門学校や県大との連携は、地域へも開かれたものになりますか？ 学生ボランティアと連携したい地域は多いと思います。	専門学校や県大と地域との連携については、学生の多様な視点をまちづくりに活かすための重要な取組であると考えております。 学生ボランティア等と地域のマッチングが図られるよう、各学校との連携をより一層図ってまいります。
----	----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

高等学校の魅力化について

48	若者の地域参画・次世代育成は、中期的な視点から、まちづくりにはかかせないと考えます。「高校の魅力化」や若者の地域参画をどのように進められるのか？ まちづくりと関係づけた取組を進められる予定はあるのか？	高等学校の魅力化につきましては、令和3年3月16日に「HAMADA教育魅力化コンソーシアム」を設立し、今後、取組むこととしております。このコンソーシアムでは、事業目的のひとつに「学校と地域の連携・協働、コーディネート機能の強化」を掲げております。今後は、コンソーシアムの中でこの具体化を図り、引いては若者の地域参画に繋げてきたいと考えております。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

小中高における“まちづくり”を主題とした授業の実施について

49	“まちづくり”を主題とした授業を、小中高を一貫して取り入れることはできないものか。	「まちづくり」を主題とした授業について、小学校では6年生国語科、中学校では社会科「公民」、高校では総合的な探究の時間で、地域課題解決型の授業が行われています。その取組内容について、校種間での連携を強化することで、小中高を一貫した授業となります。浜田市で進める教育の魅力化では、小中高の連携による協働のまちづくりを目指していますので、学校のご意見を踏まえ、検討したいと考えております。
----	-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開催方法、当日運営、内容、配布資料について

50	「みんなに見てもらいやすいように」との事でオンライン開催となったことはいいと思います。しかし、集まったのは職員ばかりで地域の方はほとんどおられません。まず、今日の事をご存知ない方のほうが多いです。みなさんに周知するための取り組みをもう少し徹底しては？ まちセン化する事自体しない方もいます。ケーブルでCMを流すなど出来る事はちらしを作る以外にもあったと思います。準備が出来てなさすぎます。4月から不安です。	「みんなに見てもらいやすいように」ということに併せて、新型コロナウイルス感染症対策として会場での3密を回避する観点からもオンライン形式での開催といたしました。当日の様子については、YouTube（ユーチューブ）でのライブ配信やケーブルテレビでの生中継などご自宅でも視聴可能としました。協働のまちづくり推進条例やコミュニティセンター化については、今回の市民集会だけではなく、地域に出向いた勉強会等を実施するなど、引き続き理解を深める取組が必要と考えております。
51	今回のような方法での集会には初めて参加したが、便利でよいと感じた。今後もオンライン集会の他にもより多く市民が参加できる方法があれば試して欲しい。	多くの市民の皆さんが参加しやすい方法を引き続き検討、実施してまいります。
52	高齢者はパソコンをしない人もいると思うので、アナログな方法で周知していただきたい。	市からの情報については、多くの方に分かりやすく届けられるようデジタルやアナログなど様々な手法を活用して情報発信してまいります。
53	オンラインのため意見がはっきり聞えなかった、聞き取りにくかった。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。運営方法等について改善してまいります。
54	聞きづらい事が多く有りました。マスクの為かな。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。マスクを着用して発言されていたことも原因の一つかもしれませんが運営方法等について改善してまいります。
55	質問や答弁の内容が聞きとれなく残念。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。運営方法等について改善してまいります。

No.	問6 意見や質問	回 答
56	質疑応答の内容が聞き取りにくかったので、ホワイトボードなどで要点筆記してもらえると良かった。アンケートはグーグルフォームでやれば良かったのでは。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。アンケートの実施方法も含めて運営方法について改善をしております。
57	初めてのオンライン放送なのか、声(音声)が悪かった。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。参加者の皆さんで共有できるよう運営方法等について改善をしております。
58	説明は大体分かりましたが、支所からの質問は音声が悪く、貴重な意見がききとれず残念でした。	当日の意見や質問が聞き取りにくかった点について、申し訳ございませんでした。運営方法等について改善をしております。
59	とてもわかりやすく地域の方への説明にも参考にもらえる内容で良かったです。	協働の理念とまちづくりについて、引き続き分かりやすく丁寧な説明を行ってまいります。
60	会議のための会議？ お話のための会議という感がありました。今こそ、地域に目が向けられる施策に期待します。	第1部は、浜田市協働のまちづくり推進条例及びまちづくりセンターについての説明、第2部では、社会教育を基盤とした協働のまちづくりについて、これまでの公民館活動の振り返りとこれからのまちづくりセンターや社会教育について説明ということで、全体的に説明に重点をおいた内容となりました。引き続き、皆さんが参画する様々な機会を積極的に設け、皆さんの考え、意見等を把握し、まちづくりに反映するよう努めてまいります。
61	「浜田市協働のまちづくり推進条例」の資料の棒読みの説明、あえて市長がされなくても良いのではないかと思います。	合併後15年半続いた自治区制度に代わる新たなまちづくりのスタートということで、これから皆さんと進めていくまちづくりの基本理念である「浜田市協働のまちづくり推進条例」について市長より説明をさせていただく機会を設けさせていただきました。
62	市長が条例をあえて読まれなくても良いのではないかと思います。とても凝縮された感じだった。特に2部、もう少し余裕がほしい。	合併後15年半続いた自治区制度に代わる新たなまちづくりのスタートということで、市長より「浜田市協働のまちづくり推進条例」及び「まちづくりセンター」について説明をさせていただきました。この度のオンライン市民集会では、時間に限りがありましたが、引き続き協働のまちづくりに関する情報を提供してまいります。
63	豊富な資料を提供してもらえた。後で読み直したい。条例の解説版があり親しみやすかった。	条例の「逐条解説」については、皆さんから頂いたご意見をもとに、見直しを重ねながら作ってまいりました。今後も、協働によるまちづくりを推進し、市民の皆さんに親しまれる市政を目指してまいります。

会場	問7
本庁	市民の権利はあたりまえのこと。子どもにもそのことを知ってもらえるよう、子どもの権利についての条例もつくってほしい。
本庁	今年は選挙が多数予定されております。投票終了時間が今迄は20時でした。期日前投票が出来るので、終了時間は18時で良いのでは。経費の「ムダ」に成るのではないか。
本庁	市民一人一人の住民意欲が求められる。
本庁	まちづくりコーディネーターの役割は大きいと考えます。各公民館によりそう中間支援組織の一員として機能することが、この制度の核のように感じました。(市の支援・サポートの)
本庁	私が居住する原井町は原井町自治公民館があり、独自に年間事業計画を立て、その活動を行っています。私の考えは、原井町は、浜田公民館に所属しており、地域活動や他町内との交流を活性化すべきと思っています。以前は親睦的な団体であったのが、原井自治公民館と言う名称に変わってしまいました。4月のまちづくりセンターが開設されるため、原井自治公民館の名称を改めてもらうよう指導して頂きたいと思う。あくまで「まちづくりセンター」の一員として事業に参画するよう希望します。
本庁	地域と向き合い、よくよく地域の実情を理解し、住民の声に耳を傾けてやってほしい。事の成否、結果はすぐ出ます。
本庁	オンラインは有効な手段であるが、サブ会場の意見が良く聞こえない事がある。
本庁	現場の苦難がどこからも見えてこなかった。学説はもういい。
本庁	長畑先生の「エール」素晴らしかった。地域の人に生きてほしいので、是非地域におこしいだきたい。
本庁	私の住む町は、他と比べて高齢化率は低く、若い人が多いのですが、高齢化率が高い町へ何かしらの支援(ボランティア、人力、マンパワー提供)をしてあげられたらいいなど、よく思います。市がそういったあり余っている人力を募って、仲介し、つなげるしくみを作って頂ければ、市全体の元気さもアップするのではないか。
本庁	生涯学習で浜田公民館に長年お世話になっています。皆さん介護のお世話にならぬ様、一ヶ月に1度ですが顔を合わせる事も楽しみ続けています。元気な人への支援もよろしく願いいたします。
本庁	各コミュニティセンターには若い職員の巡廻担当にしていただければ喜びます。退職者や1日来の館長、主事のみでは、今までと変化もなく、進歩がありません。
金城	浜田市が変わろうとしていることが伝わるオンライン市民集会だったと思いますが、単なるパフォーマンスに終わらず、“地域らしさ”という単語で地域まかせにすることなく、地域住民への応援団としてあたたかくご指導等(サポート)お願いしたいと思います。
金城	農業関係もまちづくりにも活用したらどうか。若い人の仕事先も必要。

会場	問7
金城	センター長の給与が安いと、市職員の方が退職後再任用として就任してもらうことは困難なことだと思います。このことからセンター長の給与を多くしていただきたい。
旭	全体的に早口で聞き取りにくく、残念だった。
旭	御苦労様でした。共に頑張りましょう。
旭	<ul style="list-style-type: none"> ・各会場からの声がとても聞き取りにくいと思った。 ・第2部の初めの資料の文字が小さすぎて見にくいと思った。説明(公民館の活動紹介)と資料との一致を理解するのがしばらくかかり何を話されているのかわからず、終わり頃やっと活動紹介だったと理解できた。
旭	まちづくりセンターが社会に適応していくキャリア教育(キャリアパスポート)の活用の一助になれば良いですね。
旭	4月から新たなまちづくりがスタートしますが、みんなでこの条例を育て拡充していく必要があると思った。
旭	浜田・三隅・金城・旭・弥栄地域がそれぞれ活動するのでなく、共通の課題を認識しながら共働のまちづくりを期待する。浜田地域の遅れが気になる。
旭	第2部 1.公民館の説明・・・何を言っているのか、文言(言葉)が不詳。
旭	<ul style="list-style-type: none"> ・この催しの案内、もう少し早くいただきたいかったです ・このような催しでのふさわしい質問と思ったのは5件でした。 ・周知のために必要な催しかもわかりませんが、このくらいなら地区毎の説明でも十分と思います。
弥栄	住民主体のまちづくりが始まるので、一部の人だけでなく多くの住民の意見、アイデアを吸い上げることができるような活動ができればいいなと思います。
弥栄	長畑先生の講話、良くわかり良かった
弥栄	若い人達に期待
三隅	新しい制度に飛び立つには、みんなで一丸となって取り組む必要があるが、そのためにはどのように取り組めば良いのだろうか。人材育成があると思うが、それを行うにはどうしたら良いのか。
三隅	実践にあたっては「民主的社会的最大の強みは、批判に開かれ常に自らを修正していく能力にある」(2020年10月3日山陰中央新報掲載 東大 宇野重規教授 談)という事を心掛けてもらいたい。
石見	協働のまちづくりオンライン市民集会が実施され、久保田市長をはじめ村木課長、長畑先生よりお話しを聞く機会をいただき、ありがとうございました。人口の多い地域には、様々な地域課題があり、取り組まなければならないことは多々ありますが、これまで以上に、企業や各団体、個人とつながりながら一歩ずつ前進できればと思います。

会場	問7
石見	本日の市民集会にどの位の人が聴講されたかが気になりました。本庁を含む5会場もそんなには多くなかったように感じましたし、私の出席した石見公民館は3名でした。自宅等でどの位の人がお聞きになられたのかなと思います。感心の薄さが気になります。
石見	<ul style="list-style-type: none"> ・今、多くの方がコロナウイルスで閉口しています。だから、高めなければ……しかし、もう少し時間がかかります。 ・石見まちづくりセンターは、人口・世帯とも巨大で情報発信、連絡等の印刷物が多く必要です。誰も無料で使用できる印刷機を設置してください。 ・センター設備が老朽化して不便な場所が多くあります。
長浜	公民館だより等の紙ベースでの情報発信ではもう古い。今の時代、SNSでも情報発信でないと市民に届かない。各まちづくりセンターでHPを設けることが必要である。
周布	自治区制度が廃止されることと、まちづくり推進条例の制定とが、どう結びつくのか、よく理解できない。
周布	支所での質問の声が小さくて、聞きとりづらかったです。
大麻	他の自治区の声がききとりにくい。
大麻	新しいまちづくりがよりよい発展になることを望みます。ようなる様、努力したい！
国府	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ある保育所の年長組に（読む）（書く）（ソロバン）の授業をしている所があり、読む部分で詩吟の指導をさせてもらっています。むつかしい吟ですが、子供達は小学校へ入学を控え1時間の時間を伸びのびと学習に頑張っています。 ・ただし1年間で卒園しますので、又、浜田市の各学校へ分散しますので継続することが出来ません。 ・今後「まちづくりセンター」に集まり引続き出来る体制作りをすることは出来ませんか。（各ふるりの郷土芸能を含む）
国府	私は今年度で町内会長を終了しますが、町内会長と公民館とのつながりが薄かったのではと思います。毎月自治会を開催している場に町づくりとして参加してもらいアピールしてもらおうとより良くなるのでは？ 現状の町づくり委員制度だけでは不十分だと思います。
美又	高齢化で若者がまちづくりに参加が少ない中、持続していくには、若い人の日頃の参加をうながすようにしていくには、どうしたらいいのか。
波佐	波佐は、まちづくり、自治会、公民館、それぞれが単独の活動をしてきたが、波佐まちづくり委員会の中へ自治会も公民館（センター）も入ることになったので、何か新しいことが出来るのでは…と、今日の話聞きながら、少し期待感が出てきました。波佐は、他地域より遅れているので、不安はありますが、とにかく一歩でも前へ進みたいと思います。
和田	今回の市民集会は限られた方の参加として受け止めました。今後もっともっと協働のまちづくりを進めるために、長畑先生の講演を多くの市民が受講できるように工夫していただきたいと思います。 ※コロナ禍で集会が困難と考えますが、繰り返しの学びの場が必要だと思います。
和田	浜田市は豊かな海、豊かな自然があるが川下は川上の事を考え、川上は川下の事をお互いに考える事が必要だと思う。

会場	問7
都川	各支所の声が聞き取りにくくて理解出来なかった。
安城	歩き始める事によって、成果を上げる事を望む。
杵束	限られた人員の中での取組みは困難な事も多いと思います。地域の人との協働のまちづくりは重要な事です。支所の支援は大いに必要だと思いますし、市民自身も自らの事として考えて参加していかなければと思います。
杵束	講師…条例をとともほめていたが…
岡見	<ul style="list-style-type: none"> ・センター長の選出についてはまちづくり推進委員会の意見は反映できないのか。 ・職員2~3人とありますが2人3人の決定基準は人口比?活動内容?何が反映されるのか。 ・今後オンライン集会の開催を推進して頂きたい。
岡見	話のようなことが実現できたら理想ですが、全員が協力しないとむづかしい事では…
岡見	支所会場からの音声が悪く聞き取りにくかった
白砂	<p>①今後、このような集会や研修会の機会が増えると思います。FAX機能のある会場・自宅からの質問受け付け、web上での受け付けを増やしてほしいです。</p> <p>②まちづくりセンターのシステム環境をすみやかに設定できる能力のある職員さんがいてくださると心強いです。民間とのタイアップ等もありですし、コロナ禍のR2年度事業を行ってきて、その必要性を強く感じました。</p> <p>③そもそも、今回の市民集会は公民館職員研修、交流の場でした。公民館として、最後の研修交流の場でした。本会の意義は大切に大事なものでしたから、2部構成自体に無理があったように感じました。1部も大切な内容です。1部2部双方を、大事に扱い、市民の皆さんに広く周知し、情報共有をする、提供する側にある者として、時期も内容も別に設けて行うべきだったと思います。そうでなければ、市長の説明も公民館の活動周知も、長畑先生の講話もすべて伝わりきれなくて、何のために行うのかが、わからなくなりました。</p>
三隅	市の協力が必須です!市の職員をもっと地域へ、もっとまちづくりへ積極的に出掛けるように働きかけてほしいです。今後の浜田市に期待しています。ありがとうございました。
三隅	地域円卓会議や人財バンクなどあまり聞いたことのない仕組みづくりの話があったが、地域よっての温度差があり、従来の組織や仕組みとの兼ね合い。精査することも考えていかないと、人と時間には限りがあるなど感じた。まちづくりセンターの元締めがどこなのか?はっきりしてくると分かりやすい。
黒沢	オンラインでの説明会であったが、各支所の質問が公民館では何を言っているかわからなかった。本所からの質問に関しての解答は聞きとれた。
黒沢	第2部、資料の説明がどの資料を見ているのかわからなくなっている人が多かった。話し方も早い。理解しにくかった。
黒沢	出はじめが大事なので、いいかげんな考えでスタートしない事

会場	問7
黒沢	自治区長がいなくなり、浜田市副市長が各支所をまわると言っておられましたが、たまに訪問するぐらいでは住民の声は届かない。自治区長の代わりに支所長が出来ることではないと思う。地域協議会での声も今まででさえ届いていない。
黒沢	なぜ公民館ではいけないのか。住民の仕事がふえるのではないか。これは今まで説明を聞いては来たけど……
黒沢	続けていくことはとてもむづかしいこと。なくなっていくことがないよう、フォローお願いします。
黒沢	時代の「うねり」感が見て取れなかった。例えば、記憶に残るセレモニー的なもの。自治区制度に代わる制度とは全く思えなかった。自治区制度のもとで、協働のまちづくりを進めるための制度は考えられなかったでしょうか。市民憲章を実現する取組を強めることで、こと足りるのではないのでしょうか。
井野	各自治区で活用していた地域振興基金が廃止された後に変わる財源を有効活用して地域が立たないようにしてほしい。
井野	「まちづくりセンター」について、教育委員会が所管した公民館は十分な学習機会が機能している。新たに追加された「まちづくり」に対するプログラムやシステムをもっと説明してもらいたい。外に情報を発信する前に、まず、自ら「まちづくり」を実感したい。
井野	地域全体に高齢化が進んでおり、周辺環境保全が困難になっている。行政の積極的な介入を望む。中間山地におけるライフライン整備推進（公共水道・下水管）
井野	まちづくりCDは色々な角度を見れる人を望みます。地域に精通していなくとも、こりかたまった意見を出されるより全然いいと思います。行政の動きがわかる人、新しい目線でものが見れる人、意見を言える人、思いやりのある人、社会教育もまちづくりもわかっている人、どうぞご検討ください。
井野	参加者数の確認はどのようにされるのでしょうか？ アンケート回答されない方もありますが……。⇒参加者数261名（受付名簿より集計） YouTube参加・・・ライブ配信中の最大同時視聴：67人 再生回数・・・401回 ※ 2月12日（金）15:30現在
自宅	町内のまちづくり推進委員会の役員なもので、町内を代表して会議に参加させて頂きました。会場に行こうかどうしようと迷いましたが、オンライン集会だったので、自宅でパソコンを見ました。各地域からの質問は聞こえにくかったのですが、他はきちんと聞き取れました。各会場にどれ位の方々が参加されたのかは不明ですが、オンライン視聴者数は約50人でした。市民である以上、もっと多くの人々にこのような会議に参加してもらいたいと思いました。知らないことが多くあると思います。情報は自分で得るべきです。
自宅	協働のまちづくりのイメージ図について、まちづくりセンター（拠点・サポート）とあるが、具体的に何をするのか明確でない。まちづくり活動団体を包括した協議会的組織が必要ではないか。